

4月3日 No.1627
2023年(令和5年)
週刊 月曜発行

週刊 循環経済新聞

JUNKAN KEIZAI The Recycling Economy Times

2023年4月3日付 週刊循環経済新聞に『奥谷金網製作所がNS ステンレスと共同開発で“高機能ストレーナーを開発”』の記事が掲載されました！

高機能ストレーナーを開発

二相ステンレス鋼で薄肉軽量化

奥谷金網製作所

総合金網メーカーの奥谷金網製作所(神戸市、奥谷智彦社長、078・351・2531)は、日鉄ステンレス直系商社のNSステンレス(東京・千代田)と共同で「二相ステンレス鋼サニタリーストレーナー」を開発

した。食品や飲料などを製造する際の、ろ過工程に使う口筒上の異物除去器。高機能ステンレス素材と同社のパ

ンチング技術で高い強度や耐食性を実現した。薄肉軽量化によって平均2/3割のコストダウンにつなげられ

る点を強みとし、食品工場などに提案を進めていく。

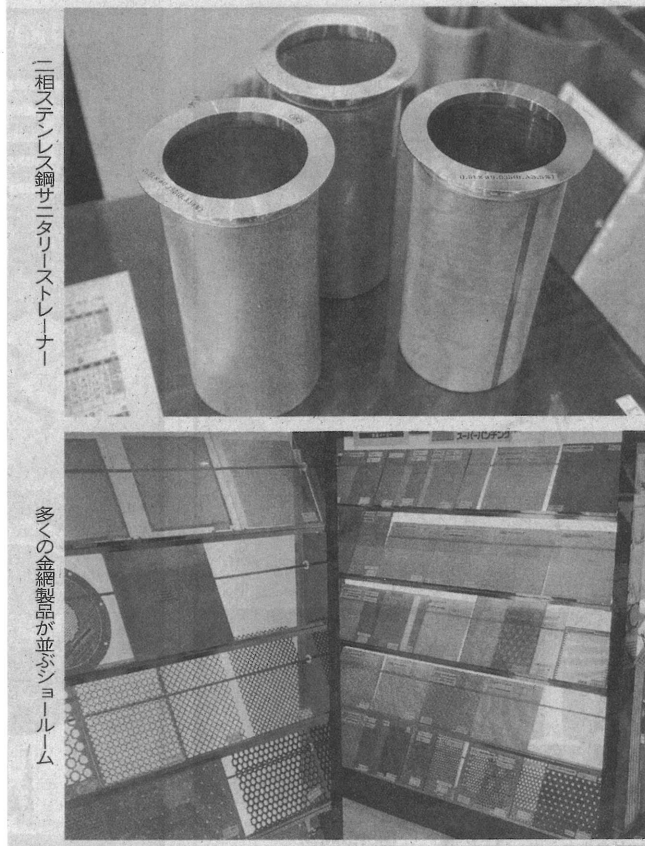
同製品は、NSステンレスが取り扱う高機能ステンレス素材「NSSC2351」を用い、小孔径・狭ピッチで打ち抜き加工できる「スーパーパンチング」技術を応用した。一般的なステンレス鋼の2倍以上の強度

約25%のコストダウンにつながったという。レアメタル(希少金属)の含有量が少なく、原料価格変動の影響を受けにくい利点もある。今回のサニタリーストレーナーも同様の理由から、平均2/3割のコストダウンにつなげられると見込む。

同社によると、国内では加工が難しいなどの理由から二相ステンレス鋼の認知度が低い。昨年の開発以降、展示会への出展時に大きな反響を得たことから、さらなるPRを進める考えだ。受注生産で販売を進めていく。

同社は1895年に創業。金網・パンチングメタルの加工や販売などで128年以上の歴史を持ち、業界をけん引してきた。国内5カ所、海外2カ所の事業拠点を保有。昨年には、金網製品の歴史を学べる「OKUTAN HISTORY MUSEUM」を本社内に開設した他、顧客との打ち合わせには各種製品が勢ぞろいの「ショールーム」を使うなど、積極的なPRにも力を入れている。

神戸本社営業チームの家村基司課長は、「耐摩耗鋼板HARDOXのパンチングも可能とするなど、高い技術力が当社の強み。今年、環境展では積極的なPRを進め、ニーズの掘り起こしやユーザーとのマッチング、認知度向上を図りたい」と意気込む。



二相ステンレス鋼サニタリーストレーナー

多くの金網製品が並ぶショールーム

OKS1895 総合金網・パンチングメタルメーカー
株式会社 奥谷金網製作所



2023年4月4日

- 神戸本社 ショールーム ミュージアム 〒650-0025 兵庫県神戸市中央区相生町4丁目5-5 TEL(078)351-2531/FAX(078)361-1484
- 姫路営業所 〒670-0825 兵庫県姫路市市川橋通2丁目50-3 TEL(079)288-0458/FAX(079)288-2077
- 東京営業所 〒110-0016 東京都台東区台東4丁目29-15-305 TEL(03)5812-7795/FAX(03)5812-7796
- 明石工場 〒651-2124 兵庫県神戸市西区伊川谷町(神戸鉄工団地内) TEL(078)974-1907/FAX(078)974-1959
- 堺工場 〒587-0011 大阪府堺市美原区丹上460 TEL(072)361-9121/FAX(072)361-9122
- シカゴ事務所 Illinois,U.S.A. / デュッセルドルフ事務所 Düsseldorf, GERMANY



https://www.okutanikanaami.co.jp

奥谷金網 検索